



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月13日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
 コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川 正一 TEL 052-683-3001
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,098	△1.3	151	60.3	221	33.5	152	39.0
2020年3月期第2四半期	19,357	△0.7	94	141.0	166	52.9	109	44.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	86.48	—
2020年3月期第2四半期	62.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,733	12,457	79.2
2020年3月期	14,575	12,313	84.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,457百万円 2020年3月期 12,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,200	△0.1	278	56.2	378	24.3	250	16.5	141.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	1,926,900株	2020年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	165,623株	2020年3月期	165,623株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	1,761,277株	2020年3月期2Q	1,761,362株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における当社の営業基盤である東海経済は、新型コロナウイルスの影響が続く中、7月から8月にかけての感染再拡大により、消費回復に足踏みがみられましたが、牽引役の製造業では北米や中国向け輸出に持ち直しの兆しが出てきています。また、外出自粛の緩和もされましたが、雇用情勢は依然として回復に至っておらず、先行きは不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、自然環境の変化やそれに伴う天候不順、乱獲などにより水産資源が減少傾向にある中で、季節ごとに期待できた漁獲量が不安定となっています。需要喚起策なども始まりましたが自粛ムードを脱却できず、宿泊や外食向けで高級魚の流通が鈍化し、厳しい経営環境となりました。

このような外部環境のもとで、当社は、限られた水産資源での販売競争に対応した調達力、営業力の強化を図るとともに、業務の効率化や諸経費の削減を推し進めるなど、業績の向上と企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、卸売部門で高級魚を中心に販売単価が下落し減収となるなど、全体で19,098百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。経常利益は、利益率の改善による売上総利益の増加、一般管理費の減少などにより221百万円(前年同四半期比33.5%増)となり、四半期純利益は、152百万円(前年同四半期比39.0%増)となりました。

下半期につきましては、売上面では、自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量減少に対応するため、出荷者との繋がりを深め、養殖魚や他魚種の集荷により安定供給を図ります。また、2019年7月に持続可能な水産物のサプライチェーンに付与されるマリン・エコラベル・ジャパン(MEL)の認証を取得しており、資源や環境に配慮した水産物の取扱いにも関わってまいります。利益面では、個々の取引条件の見直しや工場原価及び一般管理費の削減に努め、利益率の改善を図ります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、加工原料向け養殖本マグロが需要増で好調に推移し、スルメイカ、ツバス、ホタテ貝柱、養殖アワビの取扱いも増加し売上増となりました。一方、生鮮キハダマグロの輸入が減少するとともに、養殖ウナギがシラスの生育が悪く取扱いが減り、養殖サーモンの売上減、天然ハマチの入荷減、高級魚である養殖クルマエビ、ウニの単価安も加わり、全体では減収となりました。

塩冷加工品は、ズワイガニが加工業者向けに原料販売が伸長し、スルメイカが漁獲回復による取扱増となり、ギンダラが価格安により売上増となりました。巣ごもり需要により、チリ産の銀サケフィーレ、加工原料用ベニサケ、イクラ製品、健康志向ブームによる納豆製品、ブランド色がある餃子などの中華総菜も販売好調で売上増となりました。一方、天然インドネシアエビが不漁のため取扱減となり、赤魚、ボイルホタテは大型サイズ中心に外食向け需要の減少、ノルウェー産アトランティックサーモンが価格高により、小女子も不漁で売上減となり、全体では減収となりました。

この結果、売上高は18,357百万円(前年同四半期比1.7%減)、営業利益は195百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料は、シラスウナギ漁が前年より好調であったため、稚魚池入れ量が増加し売上増となり、魚粉は原料販売が増加するなど、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は417百万円(前年同四半期比16.4%増)、営業利益は15百万円(前年同四半期比61.8%増)となりました。

(冷蔵工場部門)

コンビニや量販店向けの冷凍食品は順調な入庫が続き売上増となりましたが、学校給食用の食材や中国からのコンテナ貨物が入庫減少となり、減収となりました。

この結果、売上高は237百万円(前年同四半期比1.3%減)、営業利益は43百万円(前年同四半期比23.6%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は86百万円(前年同四半期比15.5%増)、営業利益は52百万円(前年同四半期比21.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、15,733百万円となり、前事業年度末に比べ1,158百万円(8.0%)増加しました。これは主に、有価証券の減少699百万円、投資有価証券の減少222百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,033百万円、土地の増加995百万円などによるものであります。

負債は、3,276百万円となり、前事業年度末に比べ1,014百万円(44.9%)増加しました。これは主に、買掛金の増加916百万円などによるものであります。

純資産は、12,457百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円(1.2%)増加しました。これは、利益剰余金の増加81百万円、その他有価証券評価差額金の増加62百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動の結果、仕入債務の増加額等により51百万円の増加となりましたが、投資活動の結果、有形固定資産の取得による支出等により1,004百万円、財務活動の結果、配当金の支払額により70百万円それぞれ減少となったため、前事業年度末に比べ1,023百万円(25.5%)減少し、当第2四半期会計期間末には2,997百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、適正かつ合理的な算定が困難なことから未定とさせていただいておりましたが、当第2四半期累計期間までの業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,063,433	3,040,108
受取手形及び売掛金	1,861,382	2,895,119
有価証券	1,801,277	1,101,503
商品及び製品	2,064,812	2,284,295
仕掛品	22,023	17,467
原材料及び貯蔵品	250,455	168,622
その他	10,606	10,097
貸倒引当金	△11,055	△17,437
流動資産合計	9,062,935	9,499,776
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	769,741	752,383
土地	960,236	1,955,249
その他(純額)	84,915	74,993
有形固定資産合計	1,814,892	2,782,626
無形固定資産	62,080	55,228
投資その他の資産		
投資有価証券	3,533,856	3,311,337
その他	142,129	119,867
貸倒引当金	△40,726	△34,907
投資その他の資産合計	3,635,259	3,396,298
固定資産合計	5,512,232	6,234,153
資産合計	14,575,167	15,733,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,386,022	2,302,667
受託販売未払金	111,456	110,489
未払法人税等	64,493	79,429
賞与引当金	42,410	55,000
役員賞与引当金	7,795	—
その他	170,794	211,367
流動負債合計	1,782,971	2,758,954
固定負債		
退職給付引当金	346,184	350,499
その他	132,141	166,711
固定負債合計	478,326	517,210
負債合計	2,261,298	3,276,165

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,098,938	10,180,809
自己株式	△641,839	△641,839
株主資本合計	11,952,871	12,034,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360,998	423,022
評価・換算差額等合計	360,998	423,022
純資産合計	12,313,869	12,457,764
負債純資産合計	14,575,167	15,733,929

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,357,768	19,098,727
売上原価	18,492,682	18,213,776
売上総利益	865,085	884,951
販売費及び一般管理費	770,440	733,242
営業利益	94,644	151,708
営業外収益		
受取利息	8,899	8,974
受取配当金	38,194	38,517
受取手数料	15,313	13,452
その他	10,227	9,312
営業外収益合計	72,634	70,256
営業外費用		
雑損失	1,069	109
営業外費用合計	1,069	109
経常利益	166,209	221,855
特別損失		
投資有価証券評価損	7,728	—
特別損失合計	7,728	—
税引前四半期純利益	158,481	221,855
法人税、住民税及び事業税	42,404	78,285
法人税等調整額	6,515	△8,750
法人税等合計	48,920	69,534
四半期純利益	109,561	152,321

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	158,481	221,855
減価償却費	49,067	42,327
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,855	562
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△7,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,940	12,590
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,961	4,314
受取利息及び受取配当金	△47,093	△47,491
投資有価証券評価損益(△は益)	7,728	—
売上債権の増減額(△は増加)	181,262	△1,030,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	△275,087	△133,093
仕入債務の増減額(△は減少)	85,280	915,678
未払金の増減額(△は減少)	△18,152	29,931
未払費用の増減額(△は減少)	6,253	7,256
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,261	△1,582
その他	61,896	50,969
小計	197,139	64,949
利息及び配当金の受取額	52,107	49,512
法人税等の支払額	△52,514	△63,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,731	51,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	300,000	—
定期預金の預入による支出	△22,700	△22,764
定期預金の払戻による収入	21,700	22,700
有形固定資産の取得による支出	△343,327	△1,002,455
有形固定資産の除却による支出	△5,324	—
投資有価証券の取得による支出	△301,758	△1,792
投資有価証券の売却による収入	2,770	—
投資有価証券の償還による収入	600,000	—
その他	10,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	261,359	△1,004,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△326	—
配当金の支払額	△70,396	△70,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,722	△70,320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	387,369	△1,023,519
現金及び現金同等物の期首残高	3,756,869	4,020,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,144,238	2,997,274

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	18,683,972	358,617	240,730	74,446	19,357,768	—	19,357,768
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,033	—	60,341	—	64,374	△64,374	—
計	18,688,006	358,617	301,072	74,446	19,422,142	△64,374	19,357,768
セグメント利益	175,630	9,479	34,819	43,194	263,123	△168,479	94,644

(注) 1 セグメント利益の調整額△168,479千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
外部顧客への 売上高	18,357,660	417,388	237,666	86,012	19,098,727	—	19,098,727
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,430	—	56,578	—	60,008	△60,008	—
計	18,361,091	417,388	294,244	86,012	19,158,736	△60,008	19,098,727
セグメント利益	195,162	15,341	43,027	52,478	306,010	△154,301	151,708

(注) 1 セグメント利益の調整額△154,301千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。